

海外安全対策情報

1 治安情勢

カナダ統計局が公表した2016年（平成28年）の年間犯罪統計によると、道路交通関連を除く刑法犯発生数は**5,224件**（人口10万人あたりの件数）であり、前年度とほぼ変化はありません（2015年：5,198件）。犯罪種別ごとの犯罪増減率でみると、人に対する犯罪では「**児童に対する性犯罪**（30%増）」、財産に対する犯罪では「**詐欺（一般）**（14%増）」、「**詐欺（他人の個人情報を詐称したもの）**（16%増）」及び「**窃盗（他人の個人情報を対象としたもの）**（21%）」が、前年に比して大きく増加しているのが目立ちます。

2016年刑法犯州別犯罪発生数（人口10万人あたりの件数）

	刑法 犯罪	殺 人	殺人 未遂	性的 暴行	暴行	強盗	脅迫	不法 侵入	自動車・オ ートバイ盗
カナダ	5,224 件	1.7 件	2.1 件	77.0 件	607.1 件	60.1 件	166.6 件	438.5 件	216.9 件
QC	3,247 件	0.8 件	2.3 件	49.2 件	518.0 件	44.5 件	180.2 件	371.8 件	143.2 件
NL	5,924 件	1.3 件	1.3 件	58.9 件	723.2 件	42.1 件	329.7 件	509.7 件	92.8 件
PEI	4,322 件	0.0 件	0.0 件	47.1 件	407.0 件	12.1 件	151.4 件	255.6 件	59.9 件
NS	4,879 件	1.4 件	2.7 件	65.9 件	597.3 件	28.7 件	242.7 件	307.2 件	96.5 件
NB	4,696 件	1.5 件	0.9 件	48.6 件	655.9 件	29.9 件	257.0 件	430.0 件	124.3件

※ 表中、刑法犯は道路交通関連犯罪を含まない。

略号については、QC（ケベック州）、NL（ニューファンドランド・ラブラドール州）、PEI（プリンスエドワードアイランド州）、NS（ノバスコシア州）、NB（ニューブランズウィック州）のとおり。

2 各主要都市別の犯罪発生傾向

(1) ケベック州モントリオール市警察管轄内犯罪発生件数（モントリオール市警察発表）

	2015年	2016年
殺人	29件	23件
殺人未遂	111件	99件
暴行	10,246件	10,439件
強盗	2,829件	2,687件
性的暴行	1,299件	1,487件
不法侵入	9,764件	9,766件
放火	391件	360件
自動車・オートバイ盗	4,523件	4,411件
その他窃盗	27,642件	25,654件

モンリオール市においては、**犯罪は身体犯、財産犯ともに減少傾向**にあり、特に殺人事件は1972年以降で最も少ない数字となっています。なお、性的暴行が前年に比べ14.5%の増加となっていますが、これは当局による啓蒙活動の結果、申告をためらう被害者が少なくなったことによります。モンリオール市は、ニューヨーク、トロントなど北米の他の大都市に比べ比較的治安は良好であると言えますが、日本より一般的に犯罪率は高くなっています。

(2) ケベック州ケベック市警察管轄内犯罪件数（ケベック市警察発表）

	2015年	2016年
殺人（過失致死含む）	2件	6件
殺人未遂	11件	7件
暴行	3369件	3438件
強盗	114件	122件
性的暴行	377件	430件
不法侵入	2241件	2075件
放火	152件	112件
自動車・オートバイ盗	468件	403件
その他窃盗	5332件	5018件

ケベック市の犯罪発生数に関しては、**強盗を除く財産犯について減少傾向**を指摘できます。性的暴行については、モンリオール市と同じく、啓蒙活動の結果による被害申告の増加と説明されており、治安状況の悪化に結びつく特段の要素は報告されていません。なお、2017年7月28日現在、ケベック市近郊のイスラム教徒墓地の開設を巡り、嫌がらせ等若干のトラブルが見られるため、念のためモスク等の宗教施設周辺では周囲の状況に十分気をつけてください。

(3) ノバスコシア州ハリファックス地域自治体警察管轄内犯罪件数（ハリファックス地域自治体警察及び連邦警察ハリファックス支部発表）

	2016年1月～3月	2017年1月～3月
殺人	4件	0件
殺人未遂	5件	1件
暴行	520件	675件
強盗	38件	40件
不法侵入	225件	248件
自動車・オートバイ盗	82件	66件

ハリファックス地域自治体では、自治体警察及び連邦警察支部による抑止活動に重点を置いた政策により、**自動車・オートバイ盗は減少傾向にあります**が、**不法侵入事案は前年比で増加**しており、引き続き外出・就寝時の戸締まりには十分注意してください。なお、数字上暴行事案が増加していますが、同自治体警察によると、これは統計基準の変更によるもので、毎年6月から10月の間行っている、制服警察官を深夜帯に繁華街に配置するパトロール活動が根付いた結果、実際の粗暴事案は前年より落ち着いています。

(4) プリンスエドワードアイランド州シャーロットタウン市警察管轄内犯罪件数（シャーロットタウン市警察発表）

	2016年1月～12月	2017年1月～6月
殺人	0件	0件
暴行	378件	154件
強盗	18件	7件
性的暴力	37件	27件
不法侵入	201件	60件
放火	5件	2件
車上狙い	347件	128件
自動車・オートバイ盗	35件	17件

シャーロットタウン市警察は、現在**運転中の携帯電話使用の取締り**を強化するとともに、学校施設周辺に警察官を配置し、自動車運転者及び歩行者の両者に対して、交通規則の遵守を呼びかける活動を行っています。

(5) ニューブランズウィック州フレデリクトン市警察管轄内犯罪件数（フレデリクトン市警察発表）

	2015年	2016年
殺人	0件	0件
暴行	358件	425件
強盗	24件	16件
性的暴行	66件	81件
不法侵入	254件	342件
放火	26件	15件
自動車・オートバイ盗	53件	47件
車上狙い	789件	613件

2016年は、前年に比べて**粗暴事案及び不法侵入事案が大幅に増加**しました。現在同市警察では必要な施策をとって対応中ですが、引き続き外出・就寝時の戸締まりには十分注意してください。

(6) 王立ニューファンドランド警官隊管轄地域内（セントジョンズ市をはじめとするニューファンドランド・ラブラドール州内都市部）犯罪件数

王立ニューファンドランド警官隊は現在のところ統計情報を公開していませんが、**交通取締り及び家庭内暴力事案対策を最優先課題**としており、特に飲酒、スピード超過、脇見運転については、6,200件（2013年度）から5,200件（2016年度）に減少しました。また、本年7月には新本部長が着任し、引き続き各地域コミュニティとの信頼関係を醸成するとともに、薬物中毒問題への取り組みを強化すると述べています。

3 邦人犯罪被害

当館の把握事項及び各管轄警察からの報告によると、**邦人の犯罪被害は置き引きやスリ、車上狙い、空き巣等の財産犯罪がほとんど**となっています。原因については、レストランやカフェで手荷物から目を離す、あるいは車両駐車時外から見えるところに貴重品を置いている等不注意によるものが多く、特に車上狙いや自動車盗は、ケベック州だけではなく他州においても各管轄警察が注意を呼びかけていることから、十分気をつけてください。また、外出する際は住居や宿泊先の玄関や窓を全て施錠し、外出先でも置き引きやスリの被害に遭わないように手荷物をしっかり管理するなど、適切な防犯対策を講じてください。

以上